



南部町立南部中学校 学校だより 第25号

# チーム南部中

令和3年3月25日(木)  
校長 望月和彦

## 令和2年度の教育課程を修了しました



校庭東の桜はすでに八分咲きとなり、春の息吹が感じられる本日、令和2年度の修了式を行いました。この一年間を振り返ると、我が国はもちろん世界中が新型コロナウイルスという脅威に晒され、これまでの当たり前だった生活が当たり前ではなくなった一年でした。本校の教育活動も大きな制限を受けました。昨年度末に続き、年度始めからの長い臨時休業があり、3年生にとって最後の選手権大会や吹奏楽コンクール、1年生のふるさと探訪、福祉施設訪

問、スキー教室、2年生の職場体験学習、全校での百人一首大会など多くの行事が中止になりました。輝城祭も一日となり、音楽発表会も全校合唱なしで、参観者の制限など、残念な思いや悲しい思いをした生徒も多かったと思います。授業でもグループ活動や密接する活動の制限、マスクの着用や手指消毒の徹底、調理実習や格闘技はできず、本校のシンボルである校歌については、一度も全員で歌える機会がありませんでした。

そのような異例の一年でしたが、先日卒業した3年生が中心となり、それに続く2年生や1年生も、そして私たち教職員も「こんな状況のなかで何ができるのか」「この状況の中で何が大切か」「どうすれば実施できるか」を考え、試行錯誤して、この条件下でできる事を模索した一年でした。その成果がテーマ「だからこそ」のもとで開催した第10回輝城祭でした。当たり前の日常生活がどれほどありがたいものだったのかを感じられたり、学校という場所の存在価値を改めて考えられたり、危機的な状況にも可能な対策を考え対処する力を身につけることができたり、通常なら学べないことを学び、感じられないことを感じ、大切な力を身につけることができた一年だったと思います。そして、生徒たちの多くから聞かれたのは「支えてくれた方々への感謝の言葉」です。令和2年度の授業日数は1年生は189日、2年生は190日、3年生は181日でした。例年より15日ほど少ない授業日数でしたが、授業時数の確保を最優先に考え、教育内容を工夫することで必要な教育課程は完了することができました。1年間、欠席・遅刻・早退のなかった生徒は1年生が15名、2年生が13名、3年生も13名いました。そして、この3月末で旧南部中、富河中、万沢中が統合し、新南部中ができてちょうど10年になります。個々の生徒の課題、集団としての課題、教育活動の課題など、11年目に向けて改善していかなければならない課題もたくさんありますが、コロナ禍という厳しい環境の中でも、学校として大きな成果を上げることができ、生徒たちも着実に成長した一年でした。来年度も「気づき・考え・行動 そして感動」の実践理念のもと、生徒たちにとって安心して生きていく力を身につけられる学校をめざして、生徒はもちろん保護者や地域の方々からも信頼される学校となれるよう精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

## 1・2年生の授業参観と学年PTA

本校では、山梨県の学校教育指導重点にある「道徳教育の推進」にもとづき、毎年3学期の授業参観で、全クラスの道徳の授業を保護者に公開しています。3年生は2月10日に既に実施し、2年生が3月16日に、1年生は18日に道徳の授業を保護者に見ていただきました。

2年生の授業は、童話の「泣いた赤おに」を題材にして、「本当の友達」ではどのような人のことをいうのかを考える授業でした。小学校4年生の道徳の教科書にも同じ題材があり、小学生の頃の考えと中学2年生になった今の自分の考えを比較することができる内容でした。小グループで自分の考えを友だちと交流し、全体でさらに意見交換する中で、「友情」を示すためにとった行動が、結果として本当にその友だちのためになっているかどうかは、相手の立場になってみないとわからないことや広い視野で物事を見つめる視点が必要なことを学んでいました。生徒たちは自分自身のこととして、より良い友達との関係を考えていました。



1年生の授業では、「カメは自分を知っていた」という題材から「自分の良さを知り、それを伸ばすことはどういう意味を持つのか」を考える2時間計画の授業の2時間目を見てもらいました。自分の良さやグループ内の友だちの良さを考えて付箋に書き、他の人が自分の良さとして書いてくれた付箋をもらって、ワークシートに各自整理しました。自分自身が考える自分の良さや友だちの考えが一致した内容があれば、自分では気付いていない自分の良さを友だちが発見してくれていることがわかりました。授業の最後に「新しい自分に気付くことができた」「自分の長所に気付けたことでこれからの自信になった」などの感想が生徒たちから聞かれました。

授業参観後には、学年PTAが開かれ、1年間の学級経営や学年経営のまとめや学年会計、今後の予定などについて話し合いが行われました。また、学校からは生徒たちに自転車を利用させたり、スマホ等を利用させたりする際の注意事項も説明させていただきました。年度末のお忙しい中、出席していただいた保護者の皆様には大変ありがとうございました。欠席された方には、生徒を通じて学年PTAの資料が届くと思いますので、ご確認をお願いいたします。

授業参観後には、学年PTAが開かれ、1年間の学級経営や学年経営のまとめや学年会計、今後の予定などについて話し合いが行われました。また、学校からは生徒たちに自転車を利用させたり、スマホ等を利用させたりする際の注意事項も説明させていただきました。年度末のお忙しい中、出席していただいた保護者の皆様には大変ありがとうございました。欠席された方には、生徒を通じて学年PTAの資料が届くと思いますので、ご確認をお願いいたします。

## べっぴんさんの卒業生

卒業式直前の3月9日の朝、7時半に学校に着くと、朝練のない3年生たちが校舎内のあちこちにいます。「何をしているの?」と尋ねると、「学校に感謝の意味を込めて、トイレを掃除しています」とのこと。校舎内のトイレを覗いてみると、男子も女子も腕まくりをして、せっせとトイレ掃除をしてくれていました。しゃがみ込んで便器の奥の汚い部分にまで手を入れて必死に磨いてくれている姿がありました。トイレ掃除は次の日の朝も行われました。何年前か前に「トイレの神様」という歌がありましたが、「卒業生は姿も気持ちもべっぴんさんになったな」と心の中で思いました。ありがとう。



## 町内企業による支援

本校は町内の様々な方々から力を貸していただいています。3月24日、福士で建設業を営まれている「(株)佐野組」さんがダンプカーと運転手さんを提供してくださり、グラウンド用の土を甲斐市から運ぶことができました。これは、数年来続いていることです。ありがとうございます。

